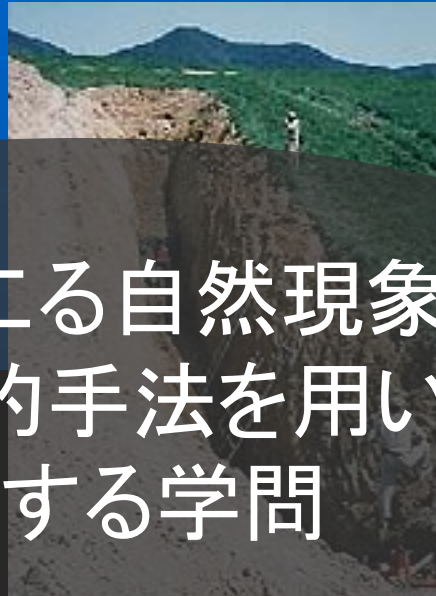
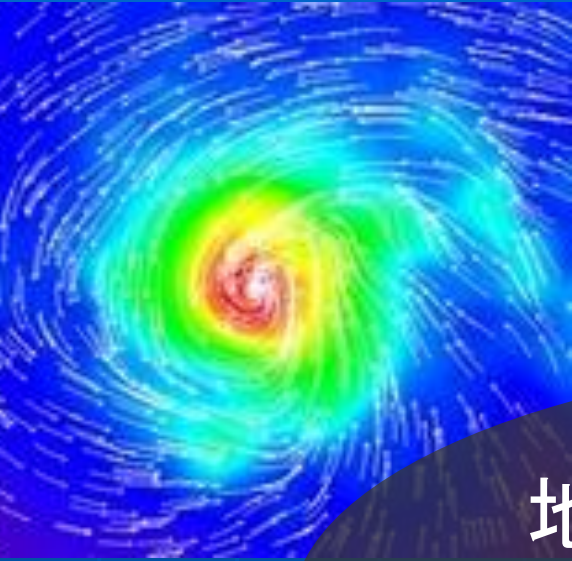
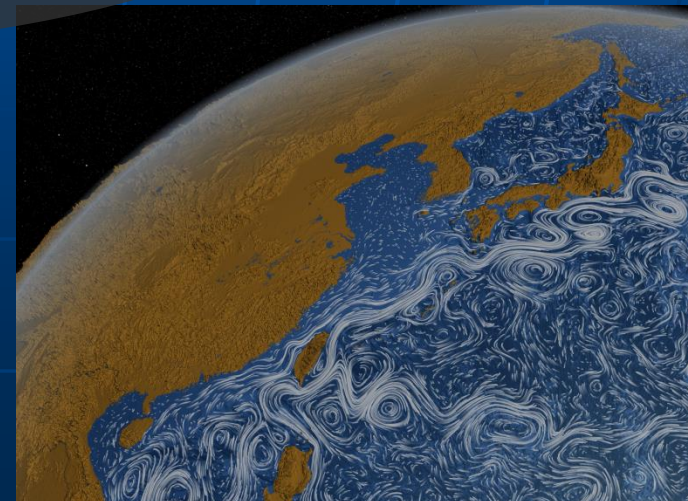
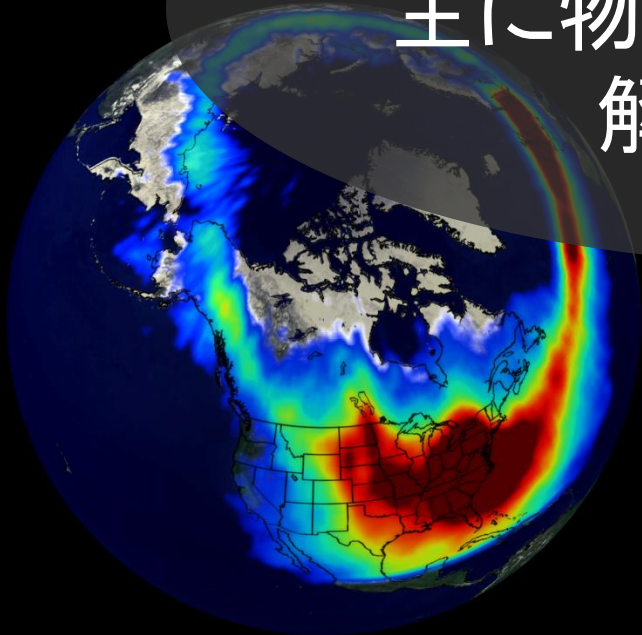


地球物理学 Geophysics



地球で起こる自然現象を
主に物理的手法を用いて
解明する学問



地球物理学

多様性(複雑), 非線形性, 不確実性...

現象・状態の理解(主にデータ解析)

モデル化, 数理解の理解, 予測
(主に理論, シミュレーション, データ同化)

地質学・鉱物学

(実用的な) 数学

微積・線形・統計・
微分方程式・
フーリエ解析・
数値計算・
データ科学など

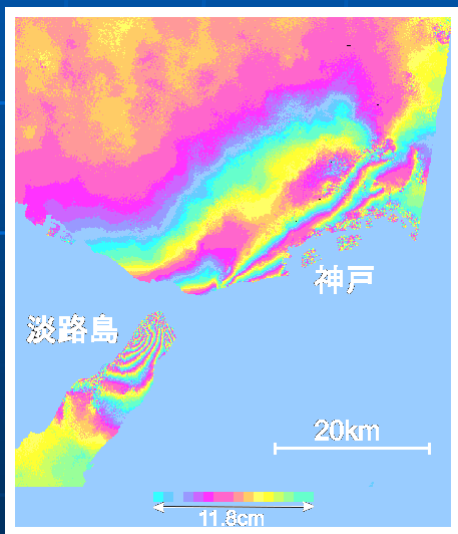
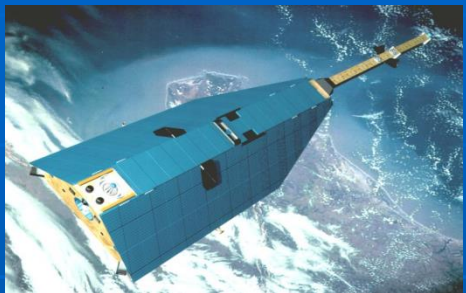
(基礎的な) 物理

力学・電磁気・熱・
流体・弾性体
(統計・量子) など

化学

基礎的な**物理**や**数学**の素養が重要!
それが足りなくても**知的好奇心**・**探求心**
と**持続的なやる気**があれば成果を出せる
分野・テーマもある.

地球物理学分野



■地球物理学教室



太陽惑星系電磁気学
講座

(地球電磁気学分野)

大気圏物理学講座

(気象学分野)

(物理気候学分野)

水圏地球物理学講座

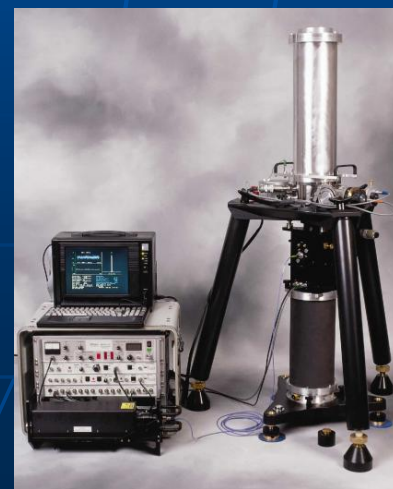
(海洋物理学分野)

固体地球物理学講座

(測地学分野)

(活構造学分野)

(地震学分野)



■附属地球熱学研究施設(別府・阿蘇・京都)

■附属地磁気世界資料解析センター

地球物理学分野担当授業

3回生前期(基礎理論・手法Ⅱ)

電離気体電磁力学
地球流体力学
物理気候学
弾性体力学
地球物理学のためのデータ解析法
課題演習DA, DB

電磁気圏
流体圏
固体圏

専門

物理・数学

基礎
(理論×手法)

3回生後期(専門Ⅰ)

地球電磁気学
気象学Ⅰ
海洋物理学Ⅰ
固体地球物理学A, B
地球物性物理学
課題演習DC, DD

4回生(専門Ⅱ)

太陽地球系物理学
気象学Ⅱ
海洋物理学Ⅱ
陸水学
測地学
活構造学
地震学
地球熱学
火山物理学
課題研究T1-T3

2回生(概論・基礎理論・手法Ⅰ)

地球物理学概論Ⅰ,Ⅱ
地球連続体力学・地球連続体力学からの展開
計算地球物理学・同演習
観測地球物理学・同演習A, B

地球物理学分野 課題演習

	固体	流体・電磁気	
	水3・4	火3・4	
前期	DA	DB	固体, 流体・電磁気の基礎的事項に関して全学問分野を横断的に学ぶ.
後期	DC	DD	固体, 流体・電磁気の各課題からテーマを1つ選択 テーマは基礎から専門応用まで5~10ほど提示される.

前後期ともに, 固体, 流体・電磁気の両方の課題演習を履修することを強く推奨しています.

今回は前期DA・DBの登録です.

後期DC・DDの登録希望調査・調整は6月下旬に行う予定.

この設問は 希望系選択 ページの Q.01 「教務連絡」を参考に、希望する系を選択してください。（複数選択：不可） 設問の 地球惑星科学系（地球物理学）〔定員24名〕 を選択した回答者のみ表示されます。

Q.12 地球物理学系を希望する理由を簡単に記述してください。

(200文字以内)

この設問は 希望系選択 ページの Q.01 「教務連絡」を参考に、希望する系を選択してください。（複数選択：不可） 設問の 地球惑星科学系（地球物理学）〔定員24名〕 を選択した回答者のみ表示されます。

Q.13 受講を希望する課題演習を選択してください。（複数選択：可）

DA・DB両方の履修を推奨します。

後期開講の課題演習DC・DDについては、後日照会します。

[前期]DA：固体地球系（定員24～29）

[前期]DB：流体地球系（定員24～29）

系登録定員を超えた場合の選考規準

- 地球物理学分野(24名)
履修状況，単位の取得状況

地球物理学分野の教育研究を知るために

地球物理学ホームページ

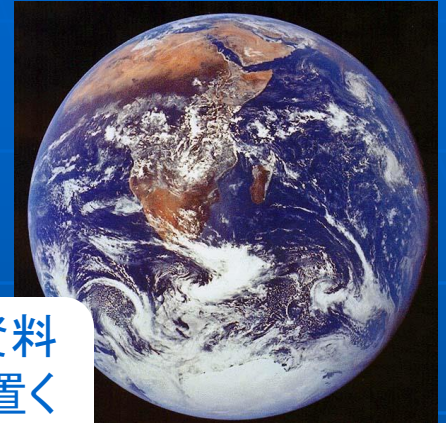
<https://www.kugi.kyoto-u.ac.jp/>

教育→学部カリキュラム

今日の資料
もここに置く
予定

- 系登録・課題演習（過去のガイダンスや課題の資料）
- 課題研究（過去のガイダンス資料や研究課題）

他に、教員一覧、研究室ホームページへのリンク等



地球物理学分野 課題研究

T1 電磁気圏

T2 大気圏・水圏

T3 固体圏

T1-T3から1課題を選び, さらに研究室・
指導教員を選び, 通年で卒業研究を行う.

課題演習から課題研究へ

自らの適性を考えながら, 専門分野を決めるシステム.

「緩やかな専門化」